

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年1月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101680
法人名	社会福祉法人 中江報徳園
事業所名	グループホーム サンシャインひまわり
所在地	鹿児島市伊敷5丁目4番17号 (電話) 099-295-0793
自己評価作成日	平成31年1月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年1月11日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成29年10月に開設し、職員もグループホーム経験者が3人しかいない中、みんなで協力し合い、手探りの中運営してきて1年が過ぎました。「知恩報徳」～人は恩の海に住む～ 高齢者が明るく、豊かな生活を送れるよう、その恩に報謝し、社会に貢献する 職員全員がこの理念を念頭に置いて仕事に臨んでいます。

- ・サンシャインひまわりは国道3号線沿いの伊敷脇田バス停のすぐ近くで大変わかりやすい場所に立っています。伊敷ひまわりモールとして、1階に交流サロン、介護支援センターひまわり園、ヘルパーステーション、小規模多機能ホームひとまとわり、2階にグループホーム サンシャインひまわり、3階に住宅型有料老人ホーム 知恩があり、建物内での行事などを通して知恩の入居者様や他事業所の職員とも交流出来ています。
- ・地域との交流はまだこれからですが、2年目の今年からは近隣の町内会や学校などに出向き、地域行事などにも積極的に参加し交流を図っていきたいと考えております。
- ・職員も法人内の勉強会や外部の研修に参加し、知識を深め、ケアの向上を目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、国道3号線沿いに位置し、九州自動車道からも近く周辺には、伊敷支所や温泉施設、商業施設などあり利便性がよい。同法人の介護保険事業所が、「伊敷ひまわりモール」と称して集合しており1階にある交流サロンでは、地域の方との交流の場として活用され、利用者や家族も参加している。1階には、小規模多機能ホームや居宅介護支援事業所、訪問介護事業所があり2階は、グループホーム、3階に住宅型有料老人ホームなどの複合施設となっている。
- 運営推進会議は、年3回は小規模多機能ホームと合同で開催している。地域との関係性を意識し、周辺のごみ拾いなど清掃活動をしたり、会議を通じて、地域の情報を収集したり、幼稚園児との交流活動、よかよか体操への参加を呼びかけるなどして地域とつながる暮らしを摸索している。
- 職員の関係性は良好で離職もなく、毎月、分科会などで意見や提案を話し合い、出された意見は、サービスの見直しや改善に繋げている。管理者は、家族との信頼関係が築けるよう職員間で情報を共有し、利用者が地域で暮らし続けるため町内会長を始めとする地域関係者との関係構築にも努めている。

にしユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念、事業所目標を事務所に掲げ、職員間で声掛け、意識しながら実践につなげている。	職員は、当法人の理念、単年度の事業所目標を共有し、理念に沿ったサービスの質の向上に努め、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会にはまだ入っていない。モール全体の行事に地域の方々の参加を呼びかけ、幼稚園生の敬老会慰問、よかよか体操などの参加を呼びかけている。	ホーム周辺のゴミ拾いを実践し、「子供110番の家」として登録をした。地域との交流充実に課題としている。1階の地域交流サロンスペースでの地域の方々との交流には利用者や家族が参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	事業所として運営推進会議や1階サロンにてオレンジテラスを開催するなどして認知症ケアについての困りごとなどに対応するようにしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催。入居者様、御家族、地域住民（地域代表、民生委員、町内会長）、近隣の事業所などに参加していただいている。活動状況の報告などを通してご意見を頂きサービスの向上に役立っている。	年6回のうち3回は、小規模多機能ホームと合同で開催している。管理者は、家族に議事録の閲覧を呼びかけているが、情報の伝達や理解度が不確かであるため、改善に向け検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護認定の更新、集団指導、介護報酬改定の説明会などで顔を合わせ、アドバイス頂いたり、介護相談員の受け入れをし、意見を頂いてサービスの向上に役立っている。	市担当者には、日頃から面談や電話などで指導や助言などをいただきながら、事業所の実情を理解していただき相互に協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修会に参加し身体拘束について理解し、日頃のケアを行っている。玄関はなく出入り口の施錠はしていない。	「身体的拘束等の適正化指針」やマニュアルがあり、昨年5月から3ヶ月に1回会議を開催している。また、研修は合同で定期開催されている。エレベーターの操作ボタンには、カバーが掛けてあるが、利用者が自由に行き来ができるよう配慮され、行動を規制することなくケアされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についても定期的に勉強会などに参加し、職員間でも声掛けし合い、注意し合えるよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会に参加し学んでいる。今後必要性についても話し合い必要時は活用できるよう支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、管理者にて内容説明を行い、納得し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時、ご家族へ声掛けし意見、要望などお聞きしている。その他運営推進会議やエレベーター横に意見箱設置し、意見を表せる機会を作っている。</p>	<p>管理者は、家族との対話を重ね信頼関係をなるべく早く構築したいと考えている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月、分科会などで職員間で意見交換を行い、管理者は随時ヒヤリングを行っている。</p>	<p>職員は、40～50代が圧倒的に多く、人間関係も良好で離職もない。法人全体の親睦会もあるが、ホームの職員だけの食事会なども企画・検討中である。意見や提案を聞く機会があり、出された意見は、サービスに活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は毎月の会議などで実績、勤務状況等把握し、職員がやりがいを持てるようコミュニケーションを図ったり、環境等の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度初めに内部と外部の研修計画を作成し、また案内も随時行い、研修を受ける機会を作っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に昨年 6月より加入。研修会には参加しているが同業者との交流はまだしていない。今後は交流を図り、情報交換を行い、サービスの向上に勤めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に、本人、家族と面談し、これまでの生活歴、病状、現在の心身の状態を把握し、困りごとや意向を伺い、安心して利用できるようにみんなで考え実行している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時、家族と面談し、施設での生活などについて説明を行い、家族としての意見や要望などを聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、医療機関、入居前のケアマネージャーなどから情報収集を行い、カンファレンス開催し、検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	簡単な家事や本人の得意な事、出来ることを見極め、その人らしさを持ち自立に繋がるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、近況報告を行い、行事などの御家族参加を呼び掛けている。面会時はゆっくり楽しい時間を過ごしていただけるよう居室へ案内している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時は落ち着いて話ができる環境づくりを心掛けている。	電話の取次ぎや故郷訪問、行きつけの美容院に職員と一緒に出掛けるなどしたり、県外に居住する家族には帰省の時期を確認して面会を促したりして関係性が途切れることがないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを通して入居者同士のふれあいや語らいの場を多くし、関係性を深めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も本人や家族への連絡を取り、相談に乗ったり、入所先や入院先への情報提供など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の要望に近づけるように傾聴し、また表情や行動から読み取り、職員間で話し合い検討している。	日々の暮らしの中で、ふとした利用者の言動や表情などで本人の思いに触れるよう心がけている。職員は、カンファレンスや担当者会議などで本人の思いを共有し話し合っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の面談にて、本人、家族、担当ケアマネージャーなどから聞き取り、職員全員で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各個人の状態に合わせ、無理せず、生活できるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族より要望や意向などを聞き、職員、専門職の意見も取り入れながらカンファレンスを行い、計画を作成している。	本人や家族の意向を踏まえた介護計画を家族の都合に合わせて会議を開催し、一緒に話し合っている。県外の方には、事前に計画を説明し、帰省時に改めて説明と同意をいただくよう努めている。モニタリングは、3ヶ月ごとに実施し見直しも柔軟に検討している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を観察し、記録している。個別の情報は職員全員で共有できるようにして介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診や、本人の好きな場所への外出など家族と連携しながら都度対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して生活できるよう、警察署、消防署、民生委員、などと連携をとっている。今後、近隣の学校行事などにも参加していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望される医療を受けられるようにかかりつけ医と連携し受診や訪問診療などに対応している。	訪問診療は全体の半数を占め、それ以外は、外来受診で家族が通院介助している。また、外来受診時は連絡票で情報提供している。訪問歯科、薬剤師との連携があり、昨年12月から看護体制が充実するなど適切な医療が受けられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の状態を把握し、体調変化に気を付け早期発見に努め、異常時は看護職員へ報告・相談している。（平成30年12月より看護職員配置）</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は入院先の担当者と情報共有し、状態把握や退院に向けての相談など、関係づくりに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時、家族に重度化や終末期に向けた方針の説明を行っている。今後、看取りについても実施できるよう取り組んでいきたい。</p>	<p>「看取り（重度化対応）に関する指針」があり、契約時に説明、同意をいただいているが、緊急時から重度化に至る過程の具体的な意志確認ができていないため、今後、文書化する予定である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の事故対応マニュアルを掲示し、毎年救命救急の方法などの研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回モール全体での防災訓練行っている。地域との協力体制も築いていけるよう努めている。</p>	<p>関連施設全体で年1回は、消防署立ち合いで避難訓練を実施、また自主訓練を年1回実施しているが、地域の協力体制はできておらず備蓄はしていない。</p>	<p>地域防災組織との連携を図られたい。また備蓄については法人全体の課題とされたい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人に合わせた丁寧な対応を全職員で心掛けている。また羞恥心にも配慮した声掛け（ケア）を行っている。	職員は、プライドや人格を否めることがないように気をつけケアに努めている。排泄や移動が自立した方もおられるが、トイレ扉を締めると使用中どうか解らない状況が起きるため、その対策を検討している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の希望に沿えるよう配慮し、自己決定できるように声掛けしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の生活の中で入居者様のペースに合わせて休息や散歩などの支援行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者様の意見を優先し、身だしなみやおしゃれなどが出来るよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の好みなどに合わせた調理や盛り付けを行っている。一緒に食事し片付けも行っている。	ユニットでは、炊飯や料理を刻んだり、盛り付けをするが、関連施設全体で調理するシステムで、担当職員もシフトにて配置されている。行事食やおやつ作りもあり、外食は、ソーメン流しに出かけるなど家族が支援している。下膳などの能力に応じた手伝いもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作る献立を元に食事を作り、提供している。好みや状態に合わせて対応している。水分量が確保できない方には家族に協力をもらい好きだった飲み物など差し入れお願いしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行っている。本人が磨いた後仕上げを職員で行ったり、歯科医とも連携し、口腔ケアの指導も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	早めの声掛けを行い、トイレでの排泄が出来るよう支援している。	リハビリパンツから布下着へと改善した方がおられたり、布下着のまま排泄の自立が図られている方もおられる。夜間は、おむつ対応やポータブルトイレ併用の方もおられるが、排泄の自立が図れるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、医師の指示で下剤を服用しコントロールを行っている。水分補給や腹部マッサージなども実施しスムーズな排便が出来るよう支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を実施している。自力で浴槽に入れられない入居者様もリフトにて浴槽に入って頂いている。本人の意向を聞き個々に応じた入浴の支援を行っている。	利用者の身体状況や希望などに合わせて入浴方法を検討し、ゆっくりと本人のペースで入浴が楽しめるよう配慮したり、タイミングに合わせて入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースで体調や気分に合わせて休息している。不安な様子が見られる時は落ち着いた場所でゆっくり話を傾聴している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別にファイルを作成し、マニュアルに沿って服薬介助している。処方の変更になった時は様子観察を行い、ちょっとした変化などを記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様、それぞれ出来る事（家事など）で役割を担い生活している。習字、塗り絵など、個々の希望に合わせた活動や散歩などで気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見、コスモス見学などで外出している。今後希望を伺いながら近隣の散歩などを実施していきたい。家族との外出・外食にも出かけている。	買い物を目的とした外出を希望される方がおられ対応しているが、日常的な外出はできていない。職員は、家族に協力を依頼し外出や外泊を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、物盗られ妄想のある方がいて、トラブルにつながらないように、事務所で預かっているが、今後は職員間で話し合い、希望に応じお金を所持し、買い物に使ったりできるように支援していきたい。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時は家族や知人への電話などが出来るよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間、居室の整理整頓に努め、季節を感じられる入居者様の作品など飾っている。室温調整にも心がけ快適に過ごせるよう配慮している。</p>	<p>中央に事務スペースがあり、両ユニットを行き来ができるようになっている。エレベーターがあるが、施錠などせず利用者が自由に出入りしている。対面キッチンがあり、廊下は広々としており、壁にはひまわりのちぎり絵が掲示され、談話コーナーにはソファが設置してある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間では気の合う入居者様同士の語らいの場を作るよう心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れたものや家族との写真、思い出の品など持ち込んで、当時のエピソードを聞いたりして、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>エアコン、ベッド、タンス、洗面台が備え付けられている。全室フローリングであり、馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室やトイレの場所などわかりやすく表示し、また状態が変化した時は職員間で協議し、生活しやすい環境づくりを心掛けている</p>	/	/



**V アウトカム項目 にしゅニット**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない